

2026

隣保館だより

6月号



NO. 387

発行・編集

鹿沼市隣保館

鹿沼市万町 931-1

Tel.0289-64-4776



ご挨拶

隣保館だよりをいつもお読み頂きありがとうございます。また、日頃より隣保館の活動に温かいご理解とご協力を賜り心よりお礼申し上げます。

さて、私たちを取り巻く状況は、不透明な経済状況や国際情勢の緊迫化が続き物価高騰の影響で生活が厳しくなり、先行きの見えにくい日々が続いております。その中で、コミュニティ及び地域のつながりと支え合いの力を大切にし、どのように行動して行くのかがあらためて問われています。

隣保館だよりを通して、行事の内容や人権情報を伝え、お互いの思いをつなぐ場となるようよりいっそう工夫を重ねてまいります。

今後とも変わらぬご支援とご協力お願い申し上げます。

◆ 今年度の「高齢者ふれあい事業」予定

運動・音楽・手芸・料理教室など、盛り沢山の講座内容となっています。

どなたでも参加できます。お申込みお待ちしております。【 ☎ 64-4776 】

期 日	内 容	講師等
6月25日	椅子に座ったピラティス	赤羽根 清美
7月 9日	手芸	藤沼 清美
7月23日	鹿沼の民話	鹿沼民話の会
8月20日	人権映画	館職員
9月10日	輪投げ	館職員
9月24日	大正琴を聴いて歌おう	ふみの会
10月 2日	バス研修	館職員
11月12日	料理教室	川田 容子
12月10日	手芸	藤沼清美
1月21日	kanuma7筋力アップ運動	高齢福祉課
3月18日	春の花の寄せ植え	館職員

隣保館とはどんな施設？

隣保館は、市町村が設置し、社会福祉法に基づき、基本的
人権の尊重の精神など踏まえ、地域社会の中で「福祉の向上」
や「人権啓発」など住民交流の拠点となる地域住民に密着し
た施設です。

主に、生活上の各種相談を中心に社会福祉や人権啓発に
関する各種事業を実施し、部落問題をはじめとするさまざ
まな人権課題の解決に役立つことを目的とした鹿沼市の施設
です。

また、隣保館が大切にしていることは、「人を大切にする」
「差別をなくしていく」ことです。現在もなお、さまざまな人権
問題や困りごとが多く存在しています。問題に気づき、考え、
誰ひとり取り残されない社会をつくっていくことを大切に
しています。

2025年度ふれあい事業実施

3月19日(木)午前10時より、毎年恒例の春の寄せ植えを参加者25名で行いました。

今回も、隣保館職員が事前に用意した3種類の春の花及び鉢と土を配り、植え付けを行いました。参加者の皆さんは、隣の方と話しながら、自分の思うように花の配置を考え、春を感じられる寄せ植えが完成しました。

参加者からは、「春を楽しみにして楽しい時間でした」「また参加したいです」など感想をいただきました。

1年間ふれあい事業にご参加頂きありがとうございました。



2026 年度高齢者ふれあい事業始まる

5月21日(木)午前10時より、第1回高齢者ふれあいのつどいが始まりました。

あいにくの雨模様の中、25名もの方が参加してくださり、今回は、参加者の希望も多かった kanuma7アップ運動を、小谷野先生を講師に招いて行いました。まず初めに、ラジオ体操から始まり、イスに座って、ひじ・かた・首・背中など運動中ケガのないように体をもみほぐしました。

途中、頭の体操など入れ、マルチタスクトレーニングで物忘れ予防体操を行いました。最後に kanuma7アップ運動を行い、参加者の皆さんは一生懸命取り組み、好評のうちに会を終了致しました。

